

高橋克哉さん（昭和58年卒）

北上消防署 署長

◇お仕事の内容を教えてください

高校を卒業し昭和58年4月1日、北上市と西和賀町を管轄する北上地区等消防組合に就職し、在職中は同市及び同町の消防署や分署に勤務し、また、防災ヘリコプターを運航する岩手県防災航空隊や盛岡地区・奥州金ケ崎地区・北上地区の119番通報を受理する岩手県央消防指令センターに派遣され、現在は北上地区消防組合北上消防署消防署長として勤務しています。

消防署の仕事は、皆さんが知っている「火災・救急・救助」の他、建物やタンクローリー等危険物施設の検査、全国で発生する災害に対応する緊急消防援助隊として市民町民に限らず、国民の安心安全のため仕事をしています。



◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

私たち消防職員は、「市民町民への奉仕」を主眼に置き、日夜職務に専念しています。

平穏な日常生活が一番ですが、ひとたび災害が発生した際に要救助者を救助・救出した時や感謝されることを喜びと感じます。

◇将来の夢を教えてください

今年は、延期開催の2020東京オリンピック・パラリンピックの年で、次期開催の2024パリオリンピック・パラリンピックの時には定年退職を迎えます。定年後は、高校時代に行っていた陸上競技を再開し、マスターズ陸上に参加して、世界、全国を回りたいと考えています。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

高校時代は普通科で学び、部活は陸上競技部に所属していました。怒られるかもしれませんが、勉学より部活を重視していたので、自分的には“専大北上高校陸上競技科”に進学したと思っています。

陸上競技漬けの毎日を送った成果が、インターハイ出場や4×100mリレーで岩手県高校新記録を樹立したのではないかと思います。

また、自慢になりますが、高校3年生の時は新人戦・高校総体・日報駅伝・全国高校駅伝大会県大会の優勝旗4本が揃った年でもありました。これは、創立70周年を迎える専大北上高校の中でも唯一の年でもあります。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

職業に就き一番思うことは、高校生活において「文武両道」が大切と考えます。勉学に励むのみでは体力がなく、運動のみでは学力や知識がありません。偏らず進むことが大切と考えます。

また、職場の後輩には、災害に備えるため各種訓練や学習を日夜頑張っているので“頑張れ”とは言いません。“今までどおりやれ”と言っています。

現在の専北生も頑張っていると思いますので“頑張れ”とは言いません。

“今までどおりやれ”ではなく、“悔いなく前に進め”とメッセージを送ります。

☆取材後記

在学中の所属科を尋ねたところ、「陸上競技科」と回答される等、ユーモアたっぷりの高橋さんでした。人命に関わるお仕事に従事されているからこそ、緊張と弛緩を上手く使い分けられているのだと感じました。高橋さん、益々のご活躍を！（担当：Y）